

鎧談義

高橋 佐知

角館武家屋敷通りに蟬時雨が響く頃、イギリス国営放送BBCから青柳家に取材依頼の連絡が入った。「イギリスの子供向け番組で紹介したいものだつた。二つ返事で快諾したが、取材前日、「実は鎧を着てほしいのです。そしてインタビューに英語で答えてもらえませんか?」と難題が突きつけられた。



鎧姿でBBCの記者を受け入れる青柳家

仕事ゆえ断れない私は、炎天下の中、倉庫からイベント用に保管していた鎧を用意してもらえた。イベント用の鎧とはいっても、兜を含めると20キロ以上の重さになり、大小脇差も着けると立つていて汗が噴き出す。

今から29年前、不良サークル「キールズ」の代表をしていた私は、当時いまひとつマイナーダラ「武藏大学」の名前を売り出したい一心でサークルのメンバー15人で第一次木ハロウイン仮装コンテストに出場したことがある。

毎日鎧を着て生活できますか?」「できません」間髪を入れずに答えた後、カメラの向こうの英國の子供たちに「だからこそ、心に鎧を着けてテロに備えましょう」と語りかけた。私は改めて兜の緒に手を握り、鎧を用意しておいた。(仙北市・38M)



あまり乗り気ではないメンバーラを説得し、借りたトラックで角館からかき集めた甲冑を東京に運んで、見よう見まねで着用した。重さに耐えながら六本木の街を3時間ほど練り歩いたことは鮮明に記憶にある。初めは嫌な顔をしていたメンバー達も、徐々にその気になり、得意げにカメラにポーズを取っていた。

会場を当時オープンしたばかりの青山スパイラルホールに移しての表彰式。「優勝は武藏大学キールズです」とメイン司会の蓮舫(当時タレント)が声高らかに発表した。BBCのアナウンサーからサムライに関する質問に答えながら、私は当時の懐かしい想い出に醉いしれていった。「では、

Stay hungry, stay foolish
秋田のソクラテスを目指して

星 則 幸

ステイーヴ・ジョブズが、スタンフォード大学の卒業式に招かれ、「バラバラの点であつても将来それが何らかのかたちで必ず繋がっていくと信じなくてはならない。信じることで、点と点が自分の歩んでいく道の途上のどこかで必ずひとつに繋がり、心の赴くところまで必ず繋がっていく」とスピーチしたのは、2005年6月12日のことです。この時の講演記録を時々、読み返しています。



武藏大学を卒業した昭和58年のことです。当時、経済学部長だった西山忠範教授から、大學院へ残らないかと勧められ、研究職には、魅力を感じていましたが、博士課程まで進学する経済的余裕はなく、国民金融公庫(現在の日本政策金融公庫)へ就職をしました。政府系金融機関へ就職して、研鑽すればいつの日か大学の教壇へ立てるのではな

いかと思ったからです。30代10年間システム開発の仕事を携わり、40歳のときに秋田支店で課長職を勤めました。秋田は、それまでに住んだどんな街とも違い、街が、様々な問題を発してくるかのようないい感触のある地でした。まだ、小さかつた子供達は、一早くこの街の素晴らしいところを発見、「この街へずっと住んでいたい」といいだしました。子供達の意向で秋田市の自宅を購入し、11年間の単身赴任後、3年前に秋田へ戻り、支店長職を勤め、昨年から秋田大学と秋田県立大学で、地方創生と創業についてスポーツでの講義をしています。郷里の南相馬市の実家は、東日本大震災のために、今はなく、秋田以外に行くところはありません。今、秋田市内では20代の人々との交流を持つて若い人の話を聞くように努めています。ソクラテスは晚めています。ソクラテスは晩年20代の若い人々と深い会話をしていました。ソクラテスが過ごしたアテネの人口は23万人ほどで、現在の秋田市とそう変わらない大きさです。

秋田には、江戸時代の優れた学者である平田篤胤、安藤昌益、菅原真澄などの優れた学問の伝統があります。そうしても復活できればと思つていま

事務局だより

(秋田市 / 31M)

す。私の点と点は、武藏大学であり、日本政策金融公庫であり、秋田の街です。それぞれに中に様々な出会いがあり、様々な思いがあります。この先の日々をお世話になつた秋田の地の活性化に、少しでも貢献できるように過ごしていきたいと考えています。

研究院すればいつの日か大学の教壇へ立てるのではな

(秋田市 / 35M)